

GREEN LIFE

ハウスヒーター 暖太郎

〈D T R - 2〉

ハウス栽培用器具

■特長

- ◇対流効果により空気の流れを起こし凍害、霜害より作物を保護します。
- ◇植物の光合成を助長し、成長を促進します。

取扱説明書

このたびは、ハウスヒーター『暖太郎』をお買い上げいただき誠にありがとうございました。

この商品は、ビニールハウス内の空気を対流させる事を目的として設計されており、ビニールハウス内の温度を上げるものではありません。正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解された上でご使用くださいますようお願いいたします。

なお、お読みになった後も取扱説明書は大切に保管してください。





注意

この表示を無視して誤った取扱いをした場合、使用者が障害を負う危険が想定される、又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

◇燃料は、良質の灯油（JIS 1号）を使用してください。不良灯油を使用しますと、芯がかたくなったり、黒煙やススが発生し、異常燃焼の原因になります。

次のような油は絶対に使用しないでください。

★不良灯油（変質灯油、不純灯油、長期間保存した灯油）

★水やゴミの混じった灯油

★メーカーのはっきりしない安価な特売品等

◇芯の突出寸法は出荷時に調整してありますが、点火後15～20分したら燃焼状態を確認してください。炎が大きく、黒煙やススが発生している場合は、調整つまみを回して黒煙やススが出ない正常な燃焼状態（明るい炎で、炎の最大高さが1～2cm）に調整してください。

著しくススが出る状態で使用し続けると、火災の原因になります。

芯の調整をしても黒煙やススの発生が止まらない場合は、直ちに使用を止め、芯の点検を行い、異常がある場合は、[点検・手入れ]の項目に従って手入れを行ってください。

◇植物にあまり近づけてご使用にならないでください。また特にひ弱等、不適当と思われる植物への使用は避けてください。

◇火のついたまま、器具を持ち運ばないでください。

転倒すると、こぼれた灯油に引火し火災の原因になります。

◇器具の移動は、必ず消火を確認後水平に静かに行ない、ぶらぶら振るような持ち運びはやめてください。灯油がにじみ出して危険です。

◇給油は、必ず火の気の無いところで行ってください。引火して火災になるおそれがあります。（火がついたままの給油は絶対にしないでください。）

◇本器具の灯油タンクは完全な密閉構造になっておりませんので、使用状態により灯油がタンクの外へにじみ出る場合があります。その場合は乾いた布等で灯油を拭き取ってからご使用ください。

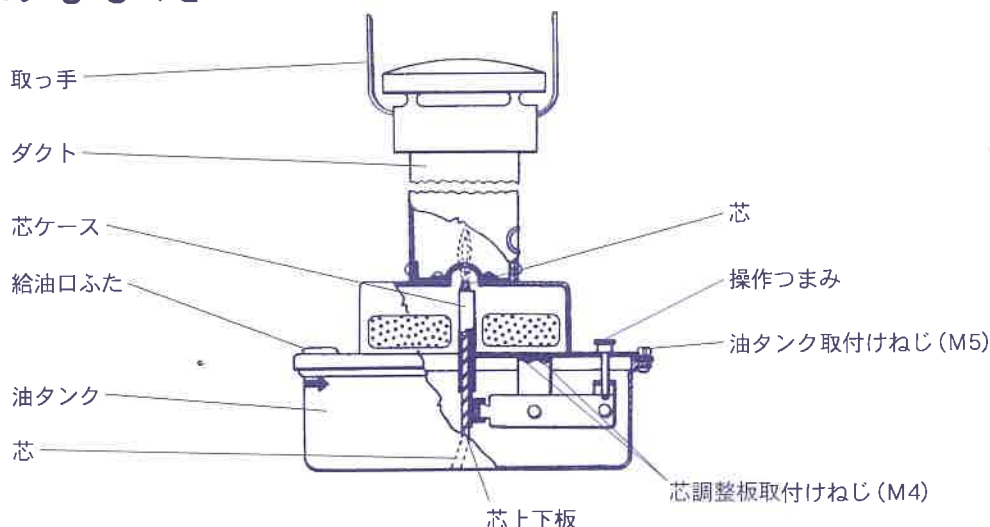
◇万一、異常燃焼を起こしたときや緊急の場合でもあわてずに、芯を下げて（調整つまみを引き上げて）消火してください。

◇器具の使用は、日没前のまだ温度が下がらない時間に点火した方がより効果的です。

◇器具に使用する灯油は、必ず火気、雨水、ゴミ、高温及び直射日光を避けた場所に保管してください。

◇器具に給油する給油器は、内部をきれいな白灯油で2～3回洗ってからご使用ください。

各部のなまえ



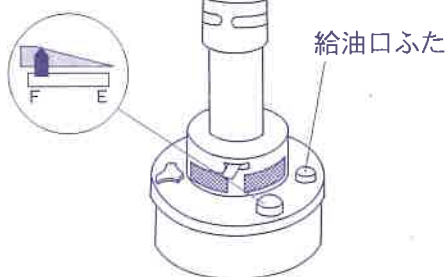
使用方法

給油

⚠ 警告 給油は芯を下げて消火し、必ず火が消えたことを確認してから行ってください。

給油の手順と注意

油量計



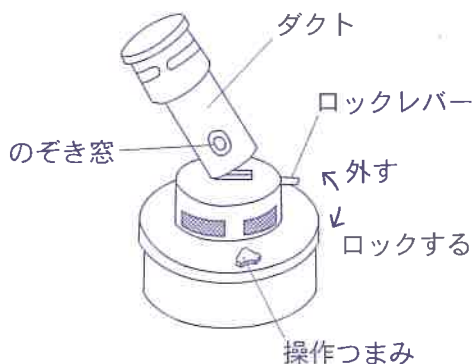
1. 給油口ふたを回して取り外してください。
2. 給油する。
 - ・市販の給油ポンプ等を使用して油量計を見ながら給油してください。
 - ・油量計の針が[F]を指したら給油を止めてください。

こぼれた灯油はよく拭き取ってください。
給油口ふたは確実に閉めてください。

点火

点火の手順と注意

☆初めてご使用になるとき、点火後しばらく多少のにおいや白煙が出るがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。



1. 初めてご使用になるときは、給油後20分位おいて、芯に十分灯油がしみるまでお待ちください。
2. ロックレバーを右に回し、ダクトを倒します。
3. 操作つまみを押し下げて、芯を上げ、マッチ等で点火してください。
4. ダクトを元にもどし、ロックレバーで確実に固定してください。
5. 点火後15分～20分位して器具が暖まったら、のぞき窓より炎の状態を確認してください。

黒煙やススの出ない白っぽい炎が最良の状態です。

※黒煙やススが出たり異常に炎が高い場合は、操作つまみを回し、黒煙やススの出ないように調整してください。
(操作つまみを右に回すと、芯は下がります。芯を上げるときは操作つまみを左へ回した後、操作つまみを押し下げます。)

最良
炎が左右均等に伸びて
いる

芯の出すぎ
炎の中央が異常に伸び
ている

⚠ 注意

☆移動後、すぐにご使用になるときは、芯ケース回りに灯油がこぼれているおそれがあります。
しばらく放置し、灯油が蒸発してからご使用ください。

移動後、すぐにご使用になりますと、芯以外のところへも着火し、火傷や火災のおそれがあります。

☆点火後、芯ケース回りが暖まると燃焼状態が変化して、ススが発生することがあります。

点火後しばらく(15分～20分後)たってから必ず、芯を再調整してください。

放置しますと、黒煙やススでハウス内が変色したり、作物を害するおそれがあります。

消 火

消火の手順

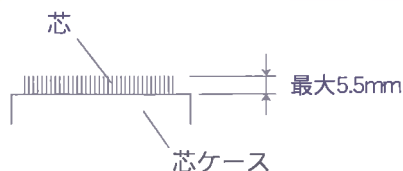
- ・ 芯操作つまみを一杯に引き上げて消火してください。
- ・ 3～5分で消火します。

★必ず消火したことを確認してください。

点検と手入れ

⚠ 注意

☆点検・手入れは消火後、器具が十分に冷えてから行ってください。



芯の突出寸法は最大で5.5 mmです。

長く引き出したりしないでください。

タールで先端が固くなった場合は、そのまま放置しないで芯の先端部分を数ミリ切って使用してください。

異常燃焼（スス発生）の原因になります。

点 検

点 検 箇 所	点 検 す る 内 容	処 置 方 法
油タンク・タンクパッキン	ひび、割れ等による油もれ	ひび、割れ等がある場合は新しい油タンク、タンクパッキンにお取り替えください。
芯	芯先が、かたく、不揃いになっていないか	弊社製、替え芯（別売）に、お取り替えください。

★替え芯のお取寄せは、本体購入先又はホームセンターでお買い求めください。

⚠ 注意

☆炭化して、かたくなった芯は異常燃焼の原因となりますので、替え芯（別売）に交換してください。

☆油タンクは約3年前後を目安に交換してください。自然劣化による油もれや火災の危険があります。

保 管

・ シーズンオフの収納は

- ①油タンクから灯油を抜き取ってください。
- ②芯に点火し、自然に火が消えてしまうまで、燃焼してください。（芯の空たきをおこなう。）
- ③油タンク内の汚れを拭き、器具をビニール袋等で包みほこりが入らないようにして、乾燥した場所に保管してください。

仕 様

仕 様	
使 用 燃 料	灯油（JIS1号灯油）
外 寸 法	φ250mm×660mm（高さ）
重 量	1.8kg
油タンク容量	4.0ℓ
燃 料 消 費 量	0.08ℓ/時

安全のために必ずお守り下さい。



危険

この表示を無視して誤った取扱いをした場合、使用者が死亡又は、重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

◆ガソリン、シンナー厳禁

ガソリン、ホワイトガソリン、シンナーなど揮発性の高い油は絶対に使用しないでください。火災の原因になります。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをした場合、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

◆衣類の乾燥厳禁

衣類などの乾燥に使用しないでください。

◆換気が必要です。

換気せずに使用しつづけないでください。酸素が不足すると、不完全燃焼し悪質不燃ガスが発生して**作物を害し**、危険な**発火**の状態に追い込まれます。

*換気が充分行えない所では使用しないでください。

*わずかな換気量で換気口を設ける場合は内部の暖気の放出は少量のものと思われま

す。
*灯油燃焼の根本原理ですので作物成長促進及び発火危険防止の万全を期すためには是非お守りください。

◆この器具は、ビニールハウス内の空気の対流を目的に作られております。本来の用途以外の使い方、例えば納屋・馬・犬小屋、養蚕室等での使用はおやめください。また、**家庭内で使用することは、絶対におやめください。**

◆設置場所は、出入り口付近の風の当たる場所を避け、ビニールやワラくず等可燃物から離れた、水平で振動や転倒のおそれのないところにしてください。

◆消火しない場合

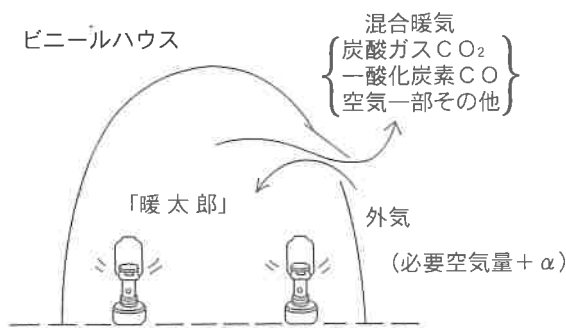
操作つまみを一杯に引き上げても消火しない場合は、芯の出過ぎが原因です。

無理に吹き消したりせず、ぬれた布をかぶせて消火してください。

無理に吹き消したりすると、タンク内で気化した石油が引火し火傷や火災を起こすおそれがありますので、絶対に行わないでください。

◆芯調整

芯の調整は、消火後器具が十分に冷えてから行ってください。芯の突出寸法は、最大で5.5 mmになっておりますので、プライヤー等でむやみに引っ張らないでください。異常燃焼（ススの発生）の原因になります。



◆万一の場合を考慮して、器具の近くに可燃物を置いたり、ビニールの近くや、作物のすぐ近くに設置するのは絶対におやめください。

◆給油時消火

給油は芯を下げて消火し、必ず火が消えたことを確かめてから行ってください。火災のおそれがあります。

こぼれた灯油は、よく拭き取ってください。また給油口フタは確実に閉めてください。

よくあるご質問

- Q. 全然ハウス内が暖かにならないのですが？
- A. この商品は、保温・暖房用の器具ではありません。ビニールハウス内の温度を上げて霜よけするものではなく、あくまでも空気の対流をおこし、植物を凍害、霜害より保護するものです。
- Q. 何坪用ですか？
- A. 地域、外気温、日照やビニールハウスなどの外的影響もありますが、目安としては10坪程度です。
- Q. 換気はどのくらいの間隔で行えばよいのか？
- A. (発熱量がファンヒーターの1/3～1/5程度ですので、) 半日に1回(午前・午後)くらいが目安です。
- Q. 芯が硬いのですが、どうすればよいですか？
- A. 空たきをしてください。(タンク内の灯油が完全に無くなるまで燃烧させる。)
1. 油タンクの灯油を抜いてください。
 2. 芯に点火し、最良火力で燃烧させます。
 3. そのまま、灯油がなくなって、火力が小さくなるまで放置します。
- ※空たきの際、臭いがしますので換気の良いところで行ってください。
- Q. 芯の先端を切って使用してもかまわないか？
- A. タールで硬くなった先端部分を数ミリ切って使用しても大丈夫です。
- Q. 取説に油タンクは3年前後で交換ください。とありますが、3年でダメになるのですか？
- A. タンク部分はプラスチックでできておりますので、使用条件、保管状態などで3年くらいで消耗、変色等する場合があります。
- Q. 転倒防止対策？
- A. この商品は、室内(屋内)で使用するものでないため、対震装置は装着しておりません。地震対策として、転倒しないようにタンク半分くらい土に埋める。又は、本体設置後周りに砂袋を置いて転倒しにくい環境にしてください。
- Q. タンクの容量はどのくらいですか？どのくらい連続使用できますか？
- A. タンクの容量は約4リッターです。火の加減にもよりますが、約50時間位です。
- Q. 発熱量はどのくらいですか？
- A. 発熱量は約2762KJ/時(約0.8kW/時)です。
- Q. 使用しないときの保管の方法を教えてください。
- A. 油タンク内の灯油を抜き、空たき後、ポリ袋等に入れ直射日光の当たらない乾燥した場所に保管してください。

製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

お願い

製品に不都合な点がありましたら、お手数でも弊社フリーダイヤルまでご連絡ください。早速お取り替え等の対応をさせていただきます。

●ご不明な点がございましたら下記フリーダイヤル、グリーンライフ「お客様サービス係」までお問い合わせください。

フリーダイヤル
受付窓口 **0120-717152**

受付時間▶9:00～17:00(土・日・祭日・夜間は留守番電話になります。)



株式
会社

グリーンライフ

本 社 新潟県三条市南四日町3-7-58
〒955-0852 TEL (0256) 36-4001(代)
FAX (0256) 36-4050

E-mail: niigata@greenlife-web.co.jp
URL: http://www.greenlife-web.co.jp